

Project – 3 「未来力」育成プロジェクト

①「未来力」とは

人口減少社会において、未婚率の上昇や晩婚化の進行などによる少子化が問題となっていることから、結婚・出産・子育てに対する不安や悩みなどを軽減するための切れ目ない支援を充実させる必要があります。

また、本市の未来を担う人材の育成のため、生まれ育つふるさとに誇りや愛着を持つことに加えて、コミュニケーション力の高い子どもたちを育てる必要があります。

ここでは、「これからの那須塩原市を築いていく子どもたちの力」を「**未来力**」と呼ぶこととし、この「未来力」の育成に重点的に取り組みます。

②プロジェクトが目指すまちの姿

未来を拓く子どもが生まれ育つまち

出合いの創出を支援するためのサポート体制の構築をはじめ、妊産婦支援や新生児乳幼児家庭訪問の実施などの切れ目のない支援、認可保育園などの建設や放課後児童クラブの整備により、安心して子どもを産み育てられる結婚・出産・子育ての希望を叶えるとともに、小中一貫教育の充実による特色ある学校づくり、コミュニケーション力を高めるための英語教育の推進により、ふるさと那須塩原の未来を担う子どもたちを育成します。

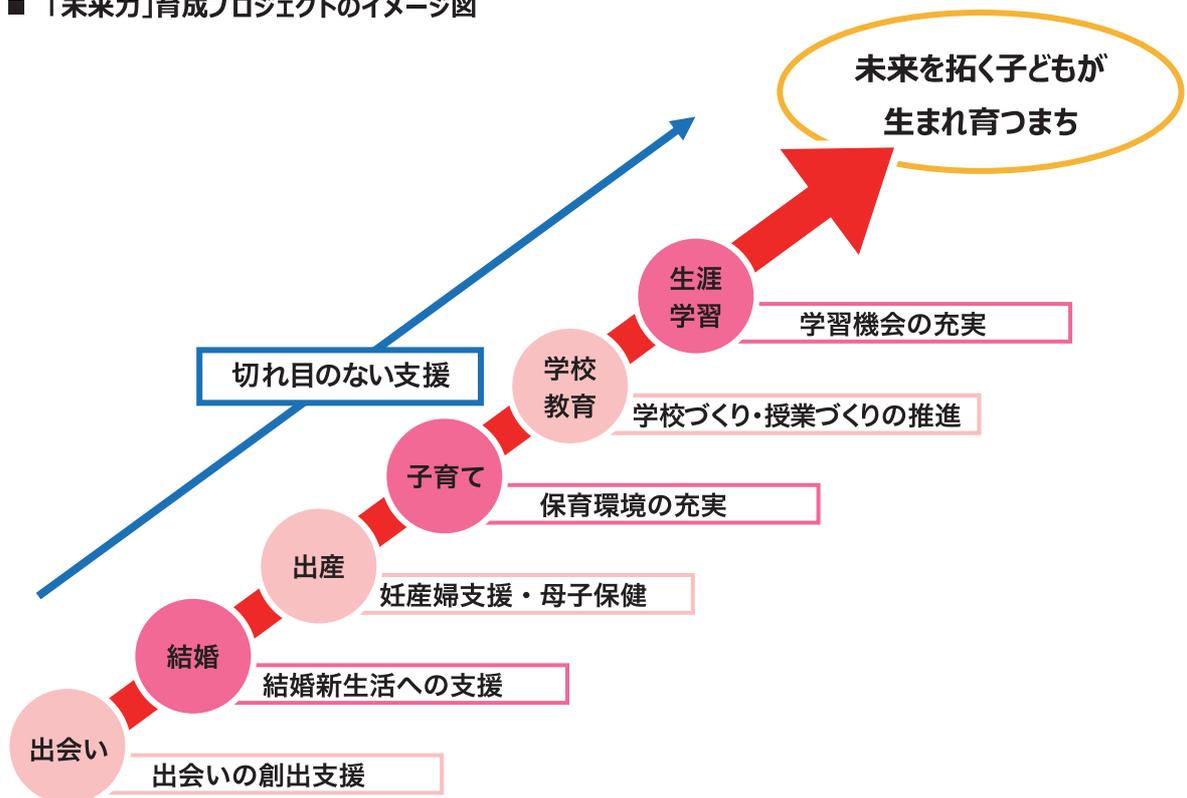
あわせて、義務教育期間中も含め、生涯にわたり学ぶことができる場をつくります。



③プロジェクトを推進するための方向性

施策No.	具体的な施策	主な取組内容	重点事業
5-2-①	出会いの創出・新婚生活を支援する	・結婚サポートセンター設置運営 ・結婚相談、マッチング、婚活セミナー、婚活イベント、支援事業の官民連携 ・結婚新生活への支援の検討	・結婚サポート事業
3-4-②	妊娠期から子育て期にわたり切れ目なく支援する	・妊産婦支援 ・母子保健	・妊産婦支援事業 ・新生児乳幼児家庭訪問事業
7-1-①	未就学児の保育環境を充実させる	・待機児童（入園待ち児童）の解消 ・保育の質の向上	・民間保育施設等整備支援事業
7-3-①	特色ある学校づくりを推進する	・小中一貫教育（義務教育学校を含む）の充実 ・学校と家庭・地域の連携の充実 ・各学校の特色ある教育活動の支援の充実	・小中一貫教育推進事業
7-3-②	学力向上のための授業づくりを推進する	・新しい時代に必要となる資質・能力を育成する授業づくりの推進	・なすしおばら学び創造プロジェクト事業
7-3-④	コミュニケーション力を高めるための英語教育を推進する	・小中一貫英語教育カリキュラムの充実 ・ALTの有効活用 ・リンツ市との中学生交流の充実	・ALT 常駐配置事業
7-2-②	学びを支える教育環境を整備する	・奨学資金の給付・貸与	・奨学資金給付事業 ・奨学資金貸与事業
7-1-②	放課後児童対策を充実させる	・公設クラブへの運営委託・指導 ・民設クラブへの運営補助・指導 ・公設クラブの整備	・放課後児童クラブ整備事業
7-5-①	学習機会を充実させる	・専門的学習機会の提供及び内容の充実 ・ライフステージに合わせた社会教育施設での講座、展示会、研修等の実施	・市民大学講座事業

■ 「未来力」育成プロジェクトのイメージ図



Project - 4 「都市力」成長プロジェクト

①「都市力」とは

人口減少が進む今後において、自立した地域を構築するためには、市町村の枠にとらわれない広域的な連携が重要であることから、本市が県北地域の中心となり、近隣市町をはじめ国、県と連携したまちづくりを進める必要があります。

ここでは、「那須塩原駅周辺を拠点としたまちの求心力」を「都市力」と呼ぶこととし、この「都市力」の成長に重点的に取り組みます。

②プロジェクトが目指すまちの姿

県北の中心都市にふさわしいまち

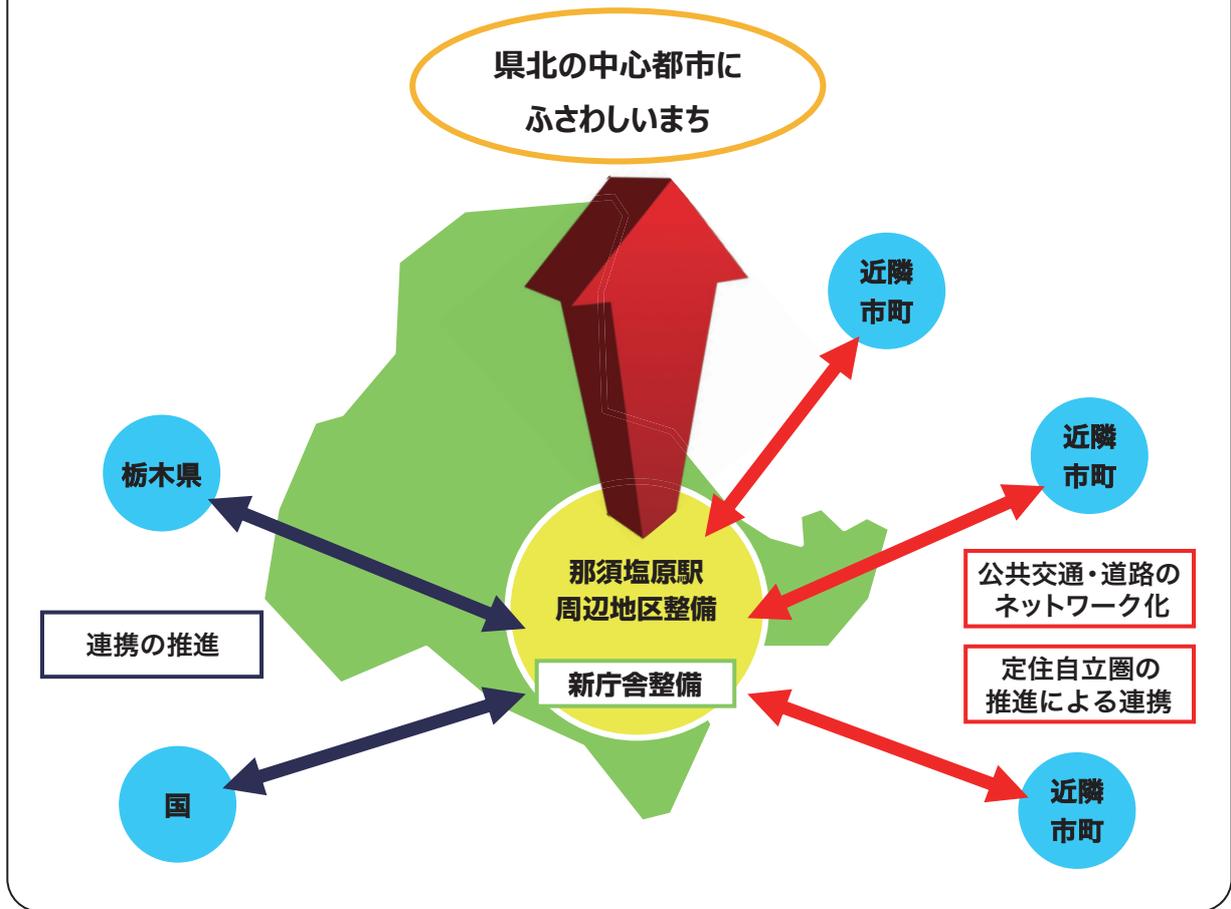
那須塩原駅周辺地区の整備や幹線道路の整備、新しい市庁舎の整備を進め、県北の中心都市にふさわしい拠点づくりを推進します。

また、近隣市町との連携をさらに深めるため、広域的かつ総合的な公共交通ネットワークの構築などを重点テーマとした定住自立圏共生ビジョンを推進するとともに、国や県との連携を一層強化し、政府機関の移転や首都機能バックアップに向けた調査研究を進めます。

③プロジェクトを推進するための方向性

施策No.	具体的な施策	主な取組内容	重点事業
5-4-③	那須塩原駅周辺地区を整備する	・那須塩原駅前広場の整備を中心とした那須塩原駅周辺地区都市再生整備計画事業の実施	・那須塩原駅周辺地区都市再生整備計画事業
4-5-①	体系的な道路網を整備する	・主要幹線道路の整備	・市道新南・下中野線道路改良事業
8-2-①	新庁舎の整備を推進する	・新庁舎建設に伴う計画及び設計 ・新庁舎建設に伴う用地の取得	・新庁舎建設準備事業
4-4-②	広域的かつ総合的な公共交通ネットワークを構築する	・他市町や交通事業者との連携、協議及び検討	・広域公共交通推進事業
8-3-③	広域的な連携を推進する	・定住自立圏共生ビジョンの推進 ・政府機関移転・首都機能バックアップに関する調査研究	・那須地域定住自立圏共生ビジョン推進事業 ・国・県・関係機関との連携

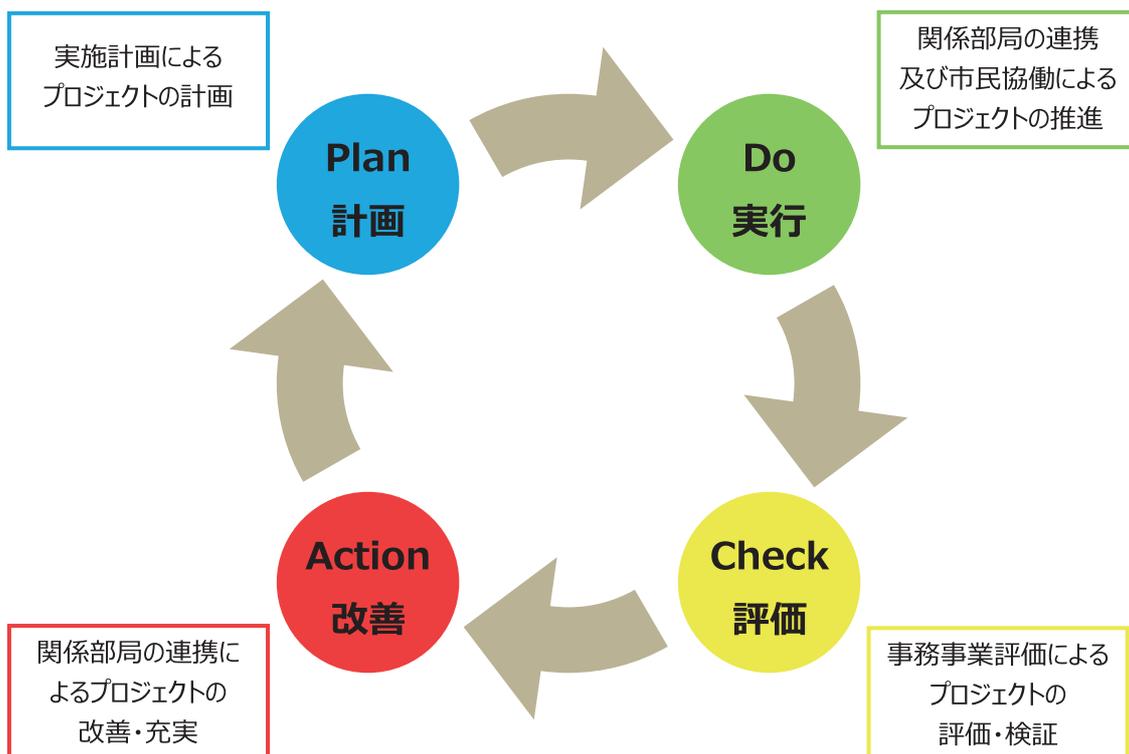
■ 「都市力」成長プロジェクトのイメージ図



(3) プロジェクトの推進

- PDCA サイクルによる進行管理を毎年度行い、改善や充実を図ります。
- 関係する部局が常に連携し、効率的・効果的な推進を図ります。
- 市民・地域・NPO・企業・行政などが相互に連携・協力する市民協働により取り組みます。

■ 重点プロジェクト推進のイメージ図



4 財政フレーム（※平成29年3月時点）

前期基本計画に掲げた施策の推進のため、計画期間内の財政フレームを設定します。

なお、このフレームは、現行の地方財政制度及び現時点の将来推計に基づき策定したものであり、今後の経済動向などにより変更する場合があります。

(1) 歳入

①市税

現行の税制度やこれまでの実績に加えて、今後の経済状況を予測・勘案して算定しています。

②地方交付税

普通交付税は、現行制度を基本として、これまでの実績などを勘案して算定しています。

なお、平成29年度から平成31年度までは合併算定替の逡減を見込み、平成32年度以降は一本算定により算定しています。

③国庫支出金・県支出金

現行の制度を基本として、これまでの実績及び基本計画に掲載している取組内容などを勘案して算定しています。

④市債

基本計画に掲載している取組内容に基づいて算定しています。

(2) 歳出

①人件費

現在と同じ水準で算定しています。

②扶助費

現行の制度を基本として、これまでの実績などを勘案して算定しています。

③物件費・補助費等

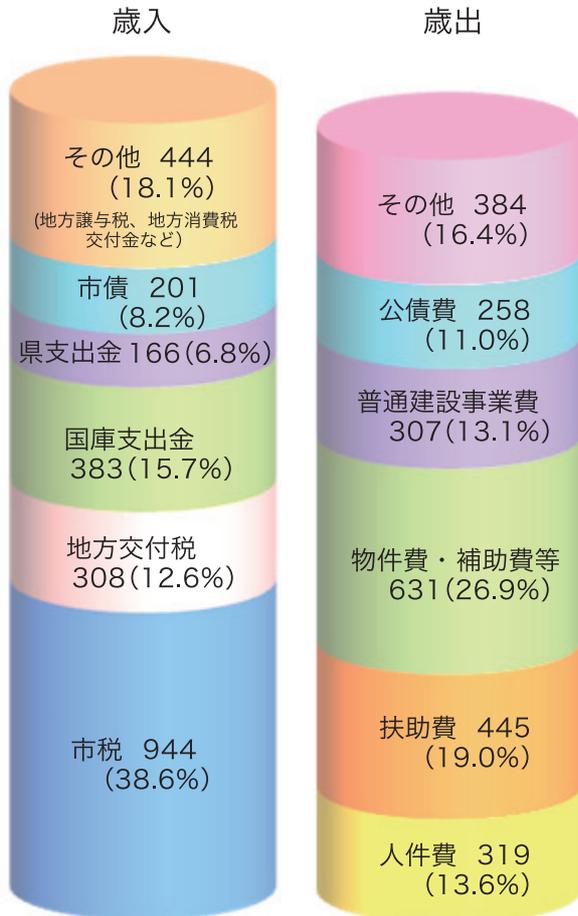
現在と同じ水準で算定しています。

④普通建設事業費

基本計画に掲載している取組内容を基本として算定しています。

前期基本計画期間(平成29～33年度)の財政見通し

【参考】平成24～28年度



歳入 2,446 億円
歳出 2,344 億円

平成29～33年度



歳入 2,338 億円
歳出 2,338 億円

(単位：億円)

- 公債費……………地方公共団体が借り入れた地方債の元利償還金
- 普通建設事業費……道路や学校などの公共施設の建設費
- 物件費……………委託料や使用料、光熱水費、臨時職員賃金など
- 補助費等……………負担金、補助金など
- 扶助費……………生活保護費や児童手当費、こども医療(助成)費など
- 人件費……………職員給与、議員報酬、各種委員報酬など

